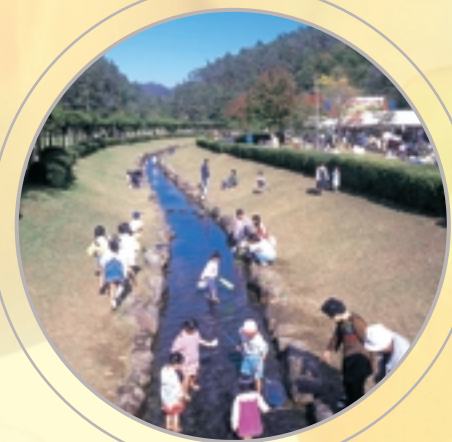


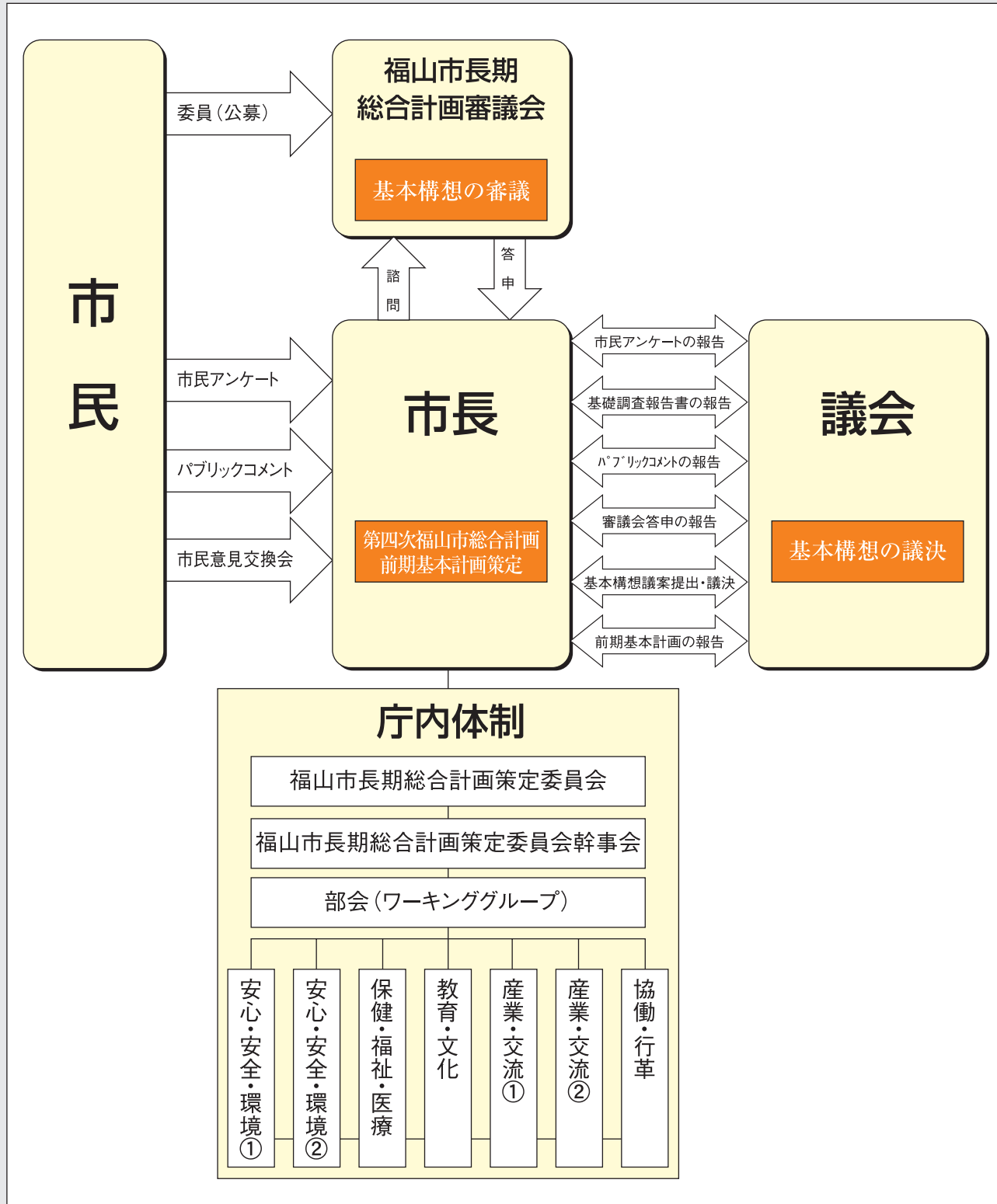
FUJIKUYYAMA



# 資料編



### ◆第四次福山市総合計画前期基本計画策定体制◆



### 第四次福山市総合計画前期基本計画

にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ ばらのまち 福山 ～

### ◆第四次福山市総合計画前期基本計画策定経過◆

年月日	市民	福山市長期総合計画審議会	議会	市
2005年(平成17年) 1月17日～31日	○市民アンケート			○市民アンケート実施
6月 6日			○総務委員会 ・基本構想変更議案について	○総務委員会への報告
6月27日			○「基本構想の変更について」議決 (神辺町との合併に伴う計画期間の1年間の延長)	
7月1日～15日	○市民アンケート (神辺町追加調査)			○市民アンケート実施 (神辺町追加調査)
8月30日			○総務委員会 ・市民アンケート調査結果の報告	○市民アンケート調査集計 ○総務委員会への報告
11月24日			○総務委員会 ・基礎調査報告書の報告	○基礎調査報告書作成 ○総務委員会への報告
2006年(平成18年) 1月31日				○第1回長期総合計画策定委員会
2月20日			○総務委員会 ・パブリックコメントの実施について ・基本構想(素案)の報告	○総務委員会への報告
4月1日～17日	○長期総合計画審議会公募委員の応募			○長期総合計画審議会公募委員の公募
4月1日～21日	○基本構想(素案)に対するパブリックコメント			○基本構想(素案)に対するパブリックコメント実施
5月26日			○総務委員会 ・福山市長期総合計画審議会条例の一部改正について ・パブリックコメントの報告 ・基本構想(素案)修正の報告	○第2回長期総合計画策定委員会 ○総務委員会への報告
5月31日			○「福山市長期総合計画審議会条例の一部改正について」議決	
6月22日				
6月27日		○第1回長期総合計画審議会		
7月20日		○第2回長期総合計画審議会		
7月28日				○第3回長期総合計画策定委員会
8月 3日		○第3回長期総合計画審議会		
8月15日				○第1回長期総合計画策定委員会幹事会
8月16日				○第4回長期総合計画策定委員会
8月24日		○第4回長期総合計画審議会		
8月31日		○市長への答申		○長期総合計画審議会から答申書受理
9月11日			○総務委員会 ・審議会における基本構想審議経過及び答申の報告	
9月12日			○基本構想審査特別委員会設置 ○第1回基本構想審査特別委員会	○基本構想議案提出
10月 5日				○第2回長期総合計画策定委員会幹事会
10月12日				○第5回長期総合計画策定委員会
10月20日			○第2回基本構想審査特別委員会	
10月30日			○第3回基本構想審査特別委員会	
10月31日			○第4回基本構想審査特別委員会	
11月22日			○第5回基本構想審査特別委員会	
12月 1日			○基本構想議案議決	○第6回長期総合計画策定委員会
2007年(平成19年) 1月10日	○市民意見交換会(南部)			
1月12日	○市民意見交換会(東部・中部)			
1月13日	○中学生意見交換会			
1月15日	○市民意見交換会(北部・西部)			
1月16日	○市民意見交換会(各種団体)			
2月 5日				○第3回長期総合計画策定委員会幹事会
2月 6日				○第7回長期総合計画策定委員会
2月14日				○第8回長期総合計画策定委員会
2月20日				○前期基本計画案作成
2月21日			○総務委員会 ・前期基本計画の報告	○総務委員会へ報告
3月 1日			○全員協議会 ・前期基本計画の報告	○全員協議会へ報告
3月26日				○第9回長期総合計画策定委員会

## ◆福山市長期総合計画審議会条例◆

平成6年6月28日  
条例第19号

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、福山市長期総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、福山市長期総合計画に関する事項について審議し、意見を答申する。

(委員)

第3条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 学識経験を有する者

(2) その他市長が必要と認める者

3 委員の任期は、当該諮問に係る意見を答申したときまでとする。

(平18条例44・一部改正)

(会長及び副会長)

第4条 審議会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第6条 審議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の会議への出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

(平17条例2・旧第8条繰上)

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行後最初に開かれる審議会の会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

3 福山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和41年条例第112号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則(平成16年3月12日条例第19号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年3月24日条例第2号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成18年6月23日条例第44号)

この条例は、公布の日から施行する。

## ◆福山市長期総合計画審議会委員◆

(敬称略・50音順)

◎委員長,○副委員長

所属団体・役職等	名 前
福山市連合民生・児童委員協議会副会長	あいかわ ひろみ 相 川 博 美
福山市教育委員会委員長	いとう やすあき 伊 藤 泰 昭
福山市女性連絡協議会会長	いのうえ たかこ 井 上 タカ子
福山大学工学部教授	いのうえ のりゆき ◎ 井 上 矩 之
福山商工会議所副会長	うらべ まこと 占 部 誠
福山市農業委員会会長	おおもと いくお 大 元 活 男
社会福祉法人福山市社会福祉協議会会長	おかの かつなり すぎはら きよし (杉 原 潔)
福山市PTA連合会事務局次長	くらた いくこ 蔵 田 郁 子
社団法人福山青年会議所理事長	さなだ なつき 眞 田 奈津基
福山文化連盟副会長	とさわ はつえ 常 盤 初 江
公募委員	ながひさ ひろこ 永 久 洋 子
福山平成大学福祉健康学部教授	ふじい さとる ○ 藤 井 悟
連合広島福山地域協議会事務局長	ふじもと かずし 藤 本 和 士
社団法人福山市医師会会長	ほそぎ のぶお 細 木 宣 男
広島経済同友会福山支部副支部長	まつもと しげたろう 松 本 茂太郎
社団法人福山市観光協会副会長	まるやま まりこ 丸 山 万里子
公募委員	みかみ きくみ 三 上 貴久美
福山市自治会連合会会長	もんでん つとむ 門 田 勤
福山市立女子短期大学学長	やすかわ えつこ 安 川 悦 子
財団法人福山市体育協会常任理事	やまぐち しょうじ 山 口 正 司

(注) 役職名は委員就任時点

(注) 名前の( )は前任者

## 基本構想原案に対するパブリックコメント

## 周知方法

「広報ふくやま2006年4月号」「福山市ホームページ」

## 実施期間

2006年(平成18年)4月1日(土)～4月21日(金) 21日間

## 対象者

- 1 市内に在住,在勤,在学している者
- 2 市内に事務所,事業所を有する法人及びその他の団体

## 基本構想原案の閲覧

- 1 市役所本庁舎(企画課,市政情報室),支所,分所・分室
- 2 中央公民館及び各地区公民館

## 意見募集結果

- 1 応募者数  
12名・1団体(電子メール6件,持参7件)

- 2 意見数  
54件

- 3 項目別意見数
 

①計画全体	9件
②序論	18件
③構想	15件
④その他	12件

- 4 主な意見等

(意見を踏まえ見直したもの)

- 難しい用語にはもっと解説が必要である。  
⇒用語に解説を追加します。
- 「“ばら”を始めとする福山市の魅力積極的に国内外に情報発信していくことが必要」とあるが,鞆の浦を始めとする歴史的景観が市内各所に数多く存在しており,「“鞆の浦”を始めとする」に変更することを提案する。  
⇒「“ばら”のまちづくり」を始め,鞆の浦や福山城などにある数多くの歴史的・文化的資源」に修正します。
- 図やイラストを活用し,分かりやすいものにする方がよいと思う。  
⇒最終的には,分かりやすい図やイラストを挿入します。
- 安心・安全が重視される社会では,犯罪の防犯体制だけでなく,災害の防災対策の記述も必要である。  
⇒防災の記述を追加します。

(今後施策を推進していくための参考意見など)

- 市内には,豊かな自然があり,自然を保全し創造することを含め,積極的に取り組む視点を盛り込むことが必要である。
- 安心・安全な生活を送るためには犯罪だけでなく,防災や食の安全も大きな位置を占めている。
- 青少年の問題は,不登校,引きこもり,いじめなど,根の深いものがあり,市民の問題意識を高めていく必要がある。
- 「福山ブランド(福山らしさ)の創出と積極的な発信を通じ,活力と魅力があり,全国に誇ることができるまちをめざします」とあるが,新たな総合計画では,産業の活性化や観光振興に特に力を注いで,「福山」の知名度を高めてほしい。
- 市は,1小学校区に1公民館,さらに6ブロックセンターと35のコミュニティセンター・館を整備し,相互に連携・協力しながら運営していることを,強みとしてとらえる必要がある。

## 基本計画に対する市民意見交換会

<参加人数総合計> 179人

## ■地域ブロック別(自治会(町内会)連合会長,まちづくり推進委員)

ブロック名	日 時	場 所	参加人数
南部ブロック	2007年(平成19年)1月10日(水) 13:30～15:00	人権交流センター	27
東部ブロック	2007年(平成19年)1月12日(金) 13:30～15:00	東部市民センター	27
中部ブロック	2007年(平成19年)1月12日(金) 19:00～20:30	福山市役所中会議室	32
北部ブロック	2007年(平成19年)1月15日(月) 13:30～15:00	北部ブロック社会教育センター	35
西部ブロック	2007年(平成19年)1月15日(月) 19:00～20:30	松永コミュニティセンター	16
合 計			137



地域ブロック別意見交換会の様子

## ■各種団体(長期総合計画審議会構成団体)

	日 時	場 所	参加人数
各種団体	2007年(平成19年)1月16日(火) 19:00～20:30	福山市役所60会議室	10

## 主な意見等

### 1 だれもが安心して快適に暮らせるまち（安心・安全・環境）

- 公共施設にユニバーサルデザインを取り入れるべきである  
⇒1-1-3「ユニバーサルデザインの推進」  
安全で快適、人にやさしいユニバーサルデザインを取り入れた生活環境の整備に取り組みます。
- 防災体制の充実としての自主防災組織の設立と防災訓練の実施を望む  
⇒1-2-2「防災・危機管理体制の充実」1-2-3「消防・救急体制の充実」  
防災体制の充実を図るため、地域における自主防災組織の充実と連携、防災意識の啓発に取り組みます。
- 里山の手入れと共有山の手入れについて  
⇒1-3-2「緑の保全と創出」  
管理状態の悪い農地や森林の保全に取り組みます。
- 車による依存が高いことから、公共交通の取り組みについて知りたい  
⇒1-4-6「公共交通サービスの充実」  
公共交通手段として、生活バス交通の確保、バス路線維持などに取り組みます。

### 2 子どもが健やかに育ち、だれもが健康でいきいきと暮らせるまち（保健・福祉・医療）

- 地域で子育てをすることが基本であることから、行政には支援を望む  
⇒2-1-2「子育て家庭に対する支援の充実」  
子育てを地域全体で支える視点で諸施策に取り組みます。
- 認知症の対応として家族への支援を望む  
⇒2-2-3「介護予防と健康づくりの推進」  
要介護者を抱える家族の支援と、それぞれの状況に応じたサービスの提供に取り組みます。
- 学習障害のある子どもに対する具体的な取り組みについて  
⇒2-3-2「いきいきと学び健やかに過ごせるまちづくりの推進」  
障害のあるすべての子どもがいきいきと暮らせるよう支援し、その子の持てる力や、可能性を伸ばすことができるよう取り組みます。

### 3 多様に学び、文化をはぐくむまち（教育・文化）

- 学校教育においては人間性や社会性に加え、道徳性をはぐくむ必要があると思う  
⇒3-1-1「学校教育の充実」  
豊かな心をはぐくむために、道徳性の育成に取り組みます。
- 公民館を核として学区大学を設置し、生きがいつくりをしてはどうか  
⇒3-2-2「生涯学習・社会教育の推進」  
学区・地域における生涯学習の機会や情報の提供などを行い、生きがいつくりに取り組みます。

### 4 産業の力みなぎる活力とにぎわいのあるまち（活力・交流）

- 人口減少に対し、企業誘致や雇用確保対策が必要と思われるが  
⇒4-1-1「企業立地の促進」  
雇用拡大、市の発展のために企業が進出しやすい環境整備に取り組みます。
- 産業の活性化と、安心安全なまちづくりから、幹線道路整備を早く進めて欲しい  
⇒1-2-4「交通安全対策の推進」4-2-1「交通体系の整備促進」  
都市基盤となる放射・環状型の幹線道路網整備に取り組みます。また、交通安全対策として、横断歩道・信号機等の整備と、交差点改良などに取り組みます。
- 福山市の玄関である駅前整備と中心市街地の活性化が必要と思われる  
⇒4-3-1「中心市街地の整備」  
福山市の玄関口である駅周辺の再開発や活性化など、市街地整備に取り組み、周辺地域と中心市街地を結ぶシンボルロードによるにぎわい回復と景観形成にも取り組みます。
- 観光振興として、もてなしの心で人をひきつける施策を望む  
⇒4-5-1「観光の振興」  
観光客が再び本市を訪れたいと思うような受け入れ体制づくりと、もてなしの心を醸成・実践するため、人材育成に取り組みます。
- 合併により広域となった本市の文化財、観光資源をPRすることが大切だと思う  
⇒4-8-1「訪ねてみたいまちづくり」  
本市の豊富な文化遺産を活かし、福山らしさを全国に発信していきます。

### 5 市民とともにつくる自立したまち（協働・行革）

- 協働のまちづくり事業に必要な後継者づくりの対策について知りたい  
⇒5-1-1「協働の推進」  
協働のまちづくりを推進するためのリーダーの発掘や人材育成に取り組みます。
- 市民の関心事の進捗状況、途中経過などの情報を提供して欲しい  
⇒5-1-3「総合的な情報公開の充実」  
協働のまちづくりを進めるためには情報の共有が基本となることから、積極的な情報公開に取り組みます。
- 道州制への移行が考えられているが、中国・四国地方の拠点として州都を目指す内容の記述があってもいいのではないかと  
道州制への具体的な取組はまだありませんが、地域のリーダーとして自覚を持ち、50万都市にふさわしい都市基盤整備に取り組んでいきます。

## 基本計画に対する中学生意見交換会

### ■中学生(市内全市立中学校)

	日 時	場 所	参加人数
中学生(午前の部)	2007年(平成19年)1月13日(土) 10:00~14:30	福山すこやかセンター	14
中学生(午後の部)			18
		合 計	32

### 主な意見等

#### 「将来、福山市がどんな市になっていけばよいと思いますか？」

- ・若者からお年寄りまで住みやすいまち
- ・市内のどこにいても、ばらを感じられるまち
- ・ごみのないまち
- ・自然を大切にし、川がきれいで、ばらや緑の多いまち
- ・犯罪のない、平和なまち
- ・郊外でも交通が便利なまち
- ・福山と聞けばばらのまちといわれるような特徴を持つまち
- ・ルールやマナーを守るまち
- ・ボランティア活動が活発なまち
- ・学校でもまちでもだれもお互いに思いやれるまち
- ・福祉などを全国に先駆けて発展させていけるまち
- ・市外、県外の人が福山のことをよく知っている
- ・市外、県外の人に「行ってみたい」「もう一度行きたい」と思ってもらえるまち

#### 「それを実現するためには、どんなことをしていけばよいと思いますか？」

- 若者からお年寄りまで住みやすいまち
  - バリアフリーを進める
  - すべての人が住みやすいよう郊外でも音声信号機を設置したり、障害のある人が利用しやすいトイレを増やす
- ごみのないまち
  - 清掃活動をする(地域単位、ボランティア、市全体)
  - ごみ拾い大会をする
  - ごみを出さないような活動や学習をする
  - 不法投棄などの対策として監視カメラを設置する
  - ごみを捨てないような条例をつくる
  - ごみのないまちづくりの前提として、福山の文化などについて勉強をする
- 自然を大切にし、ばらや緑の多いまち
  - 市全体で「ばら」を感じられるようもっとばらを植える
  - 自然をいかしたイベントを行う
  - 中心部でホテルを見る会など(川もきれいになり、イベントもできる)

- 市外の人にたくさん来てもらえるまち
  - まちをキレイにし、観光客も参加できるイベントを増やす
  - 市やイベントのPRを工夫する
  - 市の境目にバラをたくさん植える
  - ばら祭で、何か発表する場があればいい
- その他の意見
  - ・漁業体験をして地元の産業を知る機会があった。地元のことを知ると、地元のことを大切に思う
  - ・合併する前は、町内の学校や地域の人参加できる音楽祭があったので、福山市でもあるといい
  - ・福山市が率先して社会貢献ができることをやってもらいたい
  - ・ばらだけでなく、ほかにも福山らしさがあればいい
  - ・企業などをもっと呼び込んでにぎわってほしい
  - ・体験型の科学館や総合運動公園などの施設があればいい
  - ・都市開発もいいけど、福山城などが見えなくなるのはよくない
  - ・若い人向けのテーマパークなどあればいい
  - ・年齢の幅のあるスポーツ大会を開催してほしい
  - ・お年寄りをはじめ、20代、30代の人との交流が少ない。いろんな世代が交流できるようなことをすればよい



中学生意見交換会の様子

## 福山市の新しいまちづくりに関する市民アンケート調査

## 調査の概要

## 調査の目的

福山市のめざすべき将来像やまちづくりの在り方などについて、市民の意向やニーズを把握し、新たな総合計画に反映させることを目的とする。

## 調査対象

福山市及び神辺町に住民登録されている20歳以上の男女から3,300人を無作為に抽出

## 調査方法

郵送に調査票を配布・回収

## 実施期間

2005年(平成17年)1月17日(月)～1月31日(月)  
2005年(平成17年)7月1日(金)～7月15日(金)(神辺町追加調査)

## 調査項目

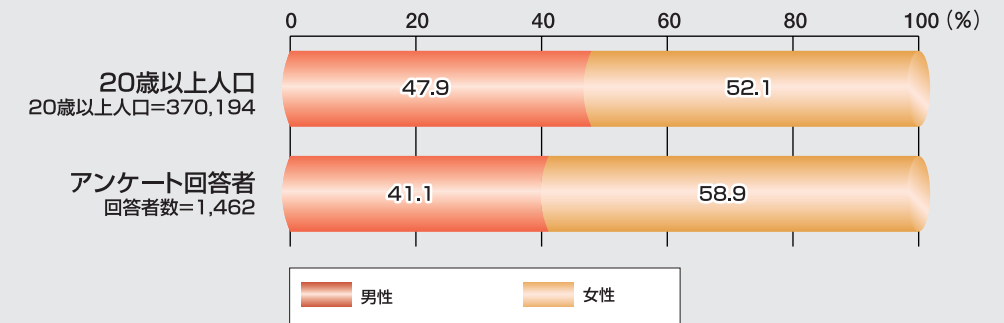
- 1 福山市への定住意向について
- 2 まちづくりに対する関心や福山らしさなどについて
- 3 これまでの10年間の政策体系別評価(行政サービスなどに対する満足度・重要度)
- 4 今後の重点的な取組など(福山市の将来像,重点的に行うべき取組)
- 5 家庭の情報化,将来の不安について
- 6 地域の活動,市民と行政の役割分担について
- 7 回答者の属性
- 8 福山市がめざすべき将来像やまちづくりの在り方などに関する自由意見

## 有効回収数

1,511人(回収率:45.8%)

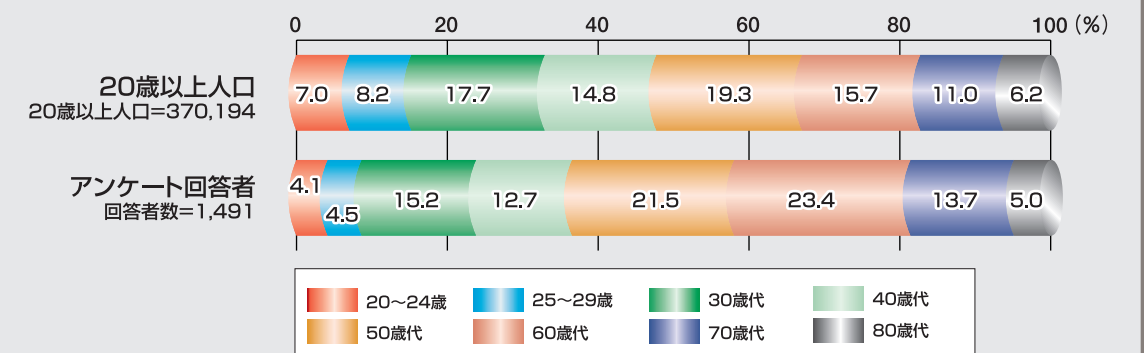
## 回答者の属性

## 1 回答者の性別



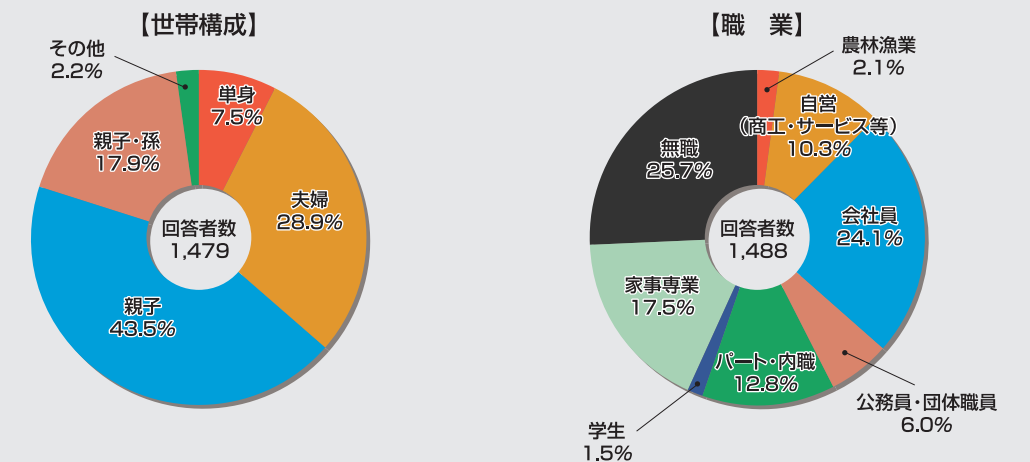
(注) 福山市(神辺町を含む)20歳以上人口は,2005年(平成17年)6月末現在。

## 2 回答者の年齢



(注) 福山市(神辺町を含む)20歳以上人口は,2005年(平成17年)6月末現在。

## 3 回答者の世帯構成・職業



## 4 回答者の居住地域

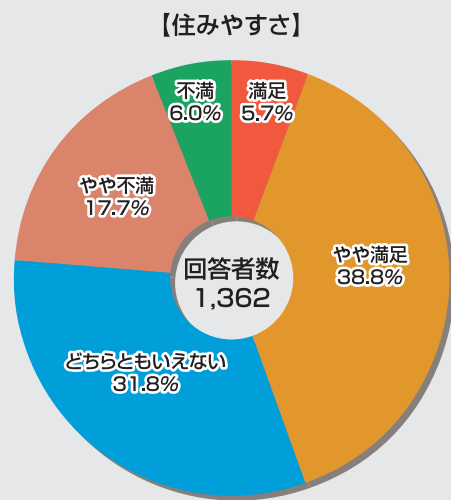
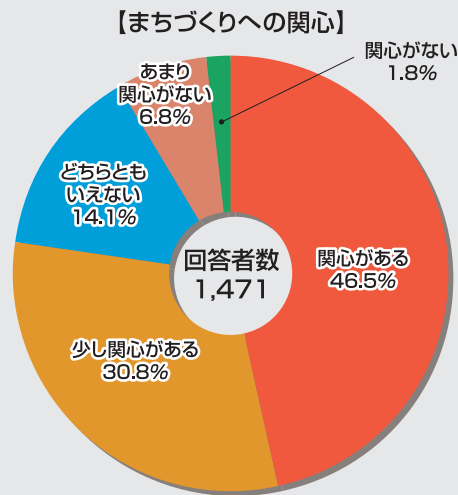
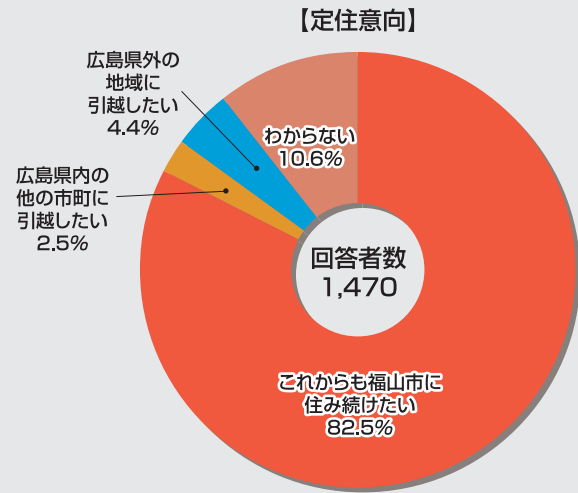
地域	件数(件)	割合(%)
中央	569	38.4
東部	274	18.5
西部	117	7.9
南部	94	6.3
北部	173	11.7
内海	15	1.0
新市	80	5.4
沼隈	25	1.7
神辺	135	9.1
計	1,482	100.0
無回答	29	

(中学校区)

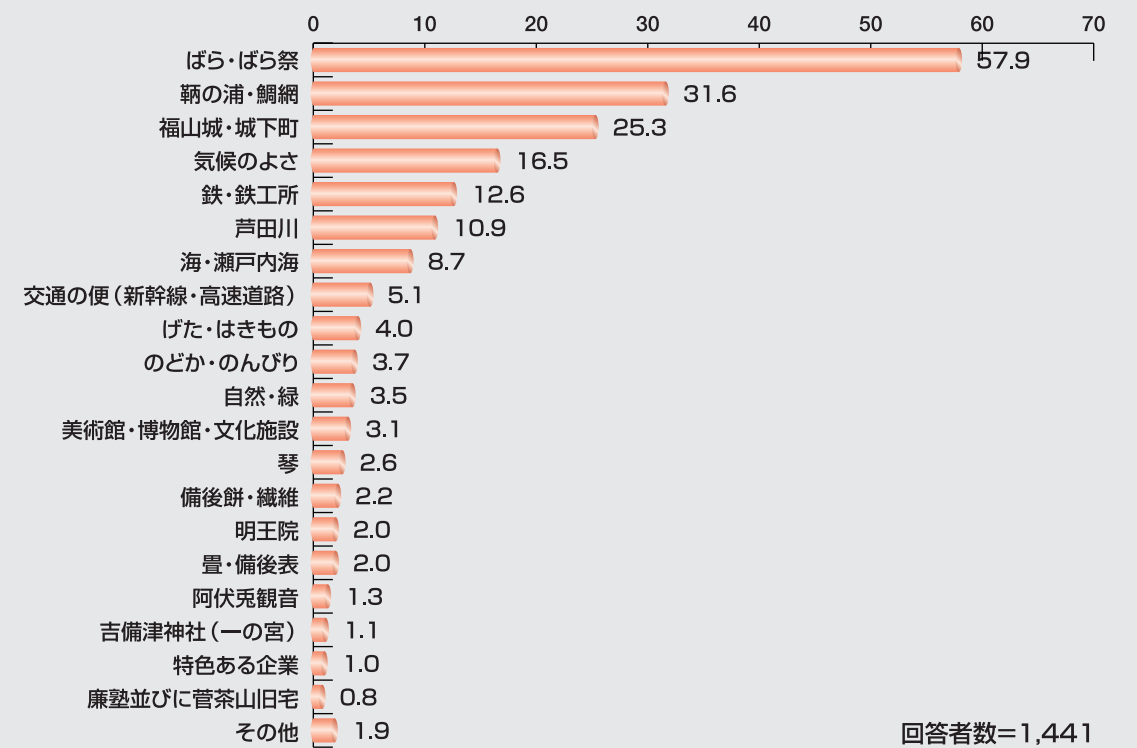
中央地域…東,城北,城南,鷹取,幸千,済美,中央,誠之,城西  
東部地域…城東,鳳,培遠,大門,一ツ橋,東朋  
西部地域…大成館,松永,精華  
南部地域…向丘,鞆,走島,至誠  
北部地域…芦田,山野,広瀬,加茂,駅家,駅家南  
内海地域…内海  
新市地域…常金,新市中央  
沼隈地域…千年  
神辺地域…神辺西,神辺東,神辺

調査結果

1 福山市への定住意向、まちづくりへの関心及び住みやすさに対する満足度



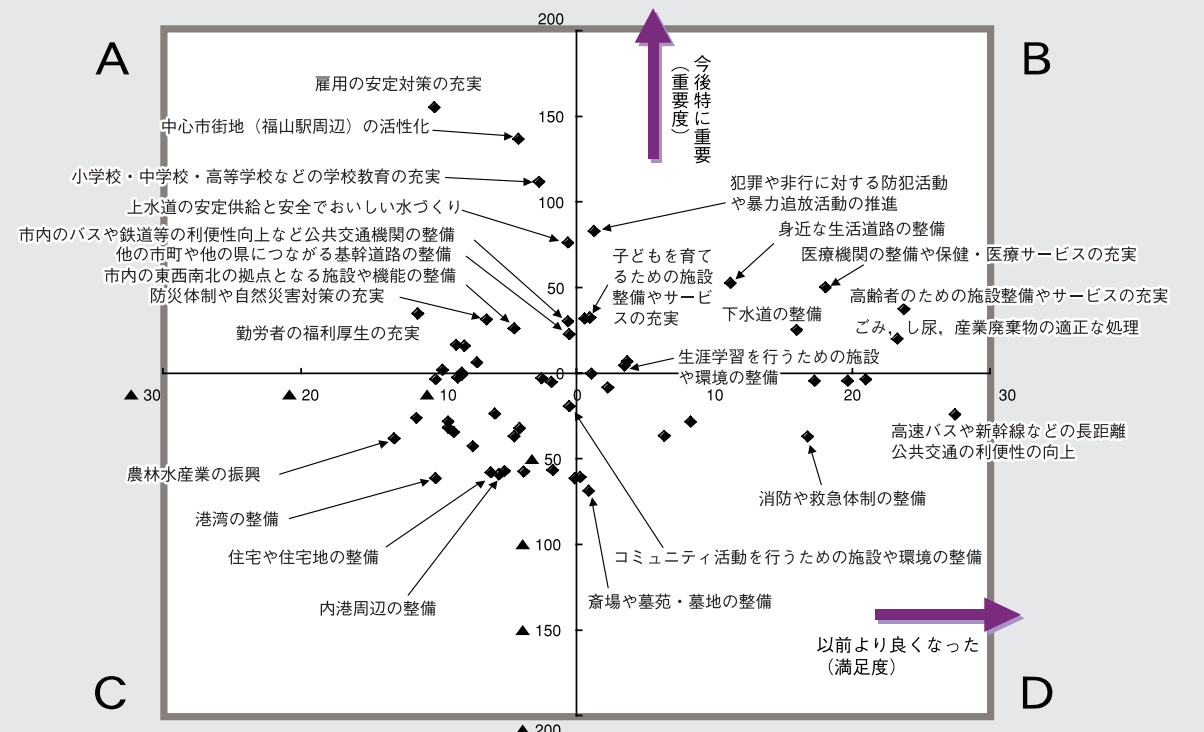
2 福山市らしさをイメージするもの



3 行政サービスなどに対する満足度・重要度から見た位置付け

福山市のめざすべき将来像やまちづくりの在り方などについて、市民の意向やニーズを把握し、新たな総合計画に反映させることを目的とする。

- A: 満足度が低く重要度が高い
- B: 満足度も重要度も高い
- C: 満足度も重要度も低い
- D: 満足度が高く重要度は低い



(注) 満足度や重要度の高低から見て、特に大きい又は小さい行政サービスなどについて名称を表示。



## 4 今後のまちづくりの在り方などに関する自由意見

## 【主な自由意見の概要】

主な意見	件数(件)
道路の整備・充実	74
学校教育の向上	68
効率的な財政運営	68
駅前の整備,市街地の整備	62
河川などの自然環境,景観の保全	60
防犯対策の強化など安全なまちづくりの推進	56
高齢者福祉サービスや施設の充実	41
市民参加のまちづくりの推進	39
行政サービスの向上	37
地域の活動や交流の活性化	37
子育て支援の充実	36
地域間のバランスのとれたまちづくり	33
バス交通の整備・充実	28
観光振興の充実	28
図書館などの文化施設の充実	28
ごみの減量化,分別の徹底,リサイクルや美化の推進	25
医療施設・サービスの充実	24
公園や緑地の整備	21
歩道など交通安全施設の整備	24
スポーツ施設の充実	19
駐車場の整備	18
障害者福祉の充実	16
下水道の整備	12

(注) 多かった意見を記載。

## 用語説明

## ア

## ●ISO14001

ISO14001とは、環境関連法規を遵守するとともに、環境関連の目的、目標を定め、それを組織的に実現し、継続的な改善を行う仕組みを構築し、運営するための国際的な規格のこと。

## ●IT

コンピュータやデータ通信に関する技術(情報技術)のこと。

## ●アイデンティティ

アイデンティティとは、自分が自分である独自性、主体性のこと。都市におけるアイデンティティとは、他の都市とは異なった都市の特性、個性のこと。

## ●イコールふくやま

男女共同参画センター(西町一丁目福山ロツツ地下2階)の愛称のこと。

## ●異文化理解交流事業

在住外国人等を講師に招き、自国の文化などを紹介し、国際理解を深める事業のこと。

## ●雨水対策整備率

市街地内で雨水対策が必要な面積に対する整備済面積の割合のこと。

## ●NGO

NGOとは、Non-Governmental Organizationの略で、一般に非政府組織と訳される。国際的・地球規模の問題に取り組む環境団体や女性団体等非政府・非営利の組織のこと。

## ●NPO

NPOとは、Non Profit Organizationの略で、民間非営利団体(組織)と訳される。医療・福祉、環境、災害復興、地域復興など様々な分野の市民運動やボランティア活動などをする団体(組織)のこと。

## ●オンライン利用率

オンライン利用促進対象手続でオンライン化された手続の利用件数を年間総手続数で除して算出したもの。(図書貸出予約、文化施設等の利用予約など)

## ●オンリーワン、ナンバーワン企業

国内において、自社が取り扱う製品や保有する技術が他社にない企業や生産量・販売量がトップである企業のこと。

## カ

## ●開業率

既存事業所に対する新設事業所の割合のこと。

## ●介護支援専門員

ケアマネジャーとも呼ばれ、本人の心身の状況や家族の意見を踏まえて、居宅サービス計画の作成などの業務を行う人のこと。

## ●介護相談員

サービスの質的な向上のため、介護保険サービス提供事業所を訪問し、サービス利用者や家庭の相談に応じたり、事業所と意見交換を行う人のこと。

## ●企業立地促進制度

企業の進出を促進するための土地や設備に対する補助制度のこと。

## ●基礎基本定着状況調査

広島県内の全公立小学校5年生、中学校2年生を対象として、生活や学習に関する意識や実態及び各学校の指導等の状況を把握するために県教育委員会が実施する調査のこと。

## ●救命救急センター

きわめて重症の救急疾患や外傷に対して、高度な集中的治療を24時間体制で提供できる医療施設のこと。

## ●魚礁

魚の増殖のために、コンクリートや鋼製の人工構造物を海底に設置したもの。

## ●勤労福祉共済事業会員数

中小企業対象の福利厚生事業である共済事業に加入している会員数のこと。

## ●グループホーム

日常生活上の支援が必要な障害のある人が、相談その他の支援を受けながら共同で生活する住居のこと。

## ●グローバル

グローバルとは、地球的な規模のこと。

## ●ケアホーム

食事や入浴などの介護が必要な障害のある人が、介護サービスや相談その他の支援を受けながら共同で生活する住居のこと。

## ●経済のソフト化・サービス化

経済のソフト化・サービス化とは、経済社会の発展に伴い、情報やサービス、知識等のソフト的な要素の占める部分が経済社会の中で大きくなる変化のこと。

## ●刑法犯罪の認知件数

警察が被害届出などで犯罪の発生を確認した件数のこと。

## ●結核接触者健診

結核患者の接触者(家族など)に対して臨時に行う健康診断のこと。

## ●後期高齢者医療制度

75歳以上の高齢者医療について都道府県を単位とした広域連合で財政運営が行われ、他の医療保険からは独立した制度のこと。

## ●公共下水道の処理人口普及率

下水道が使える区域内の人口÷住民基本台帳人口。

## ●公共施設の愛称

ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ),福山市緑町公園屋内競技場(ローズアリーナ)などのこと。

## ●合計特殊出生率

おおむね,1人の女性が生涯に生む子どもの数に相当するもの。

## ●公的産業団地

福山北産業団地,新市工業団地,箕沖産業団地のこと。

## ●合流式下水道

汚水と雨水を同一の下水管で排除する方式の下水道のこと。(一定以上の大雨が降ると下水処理しきれなくなる場合がある。)

## ●高齢化率

総人口に占める65歳以上の割合のこと。

## ●国際親善友好都市

親善友好都市の提携をしている,ハミルトン市(カナダ),浦項市(大韓民国),タクロバン市(フィリピン)の国外3都市のこと。

## ●国民保護

武力攻撃から,国民の生命,身体及び財産を保護し,国民生活などに及ぼす影響を最小にとどめること。

## ●子ども110番の家

子どもたちが,不審者などからの「声かけ」や「つきまとい」などにより,身の危険や不安を感じたときに,直ちに駆け込み,一時的に保護が受けられる緊急避難所のこと。

## ●個別の教育支援計画

障害のある児童・生徒の教育的ニーズを把握し,的確な教育的指導や支援を行うために作成した計画のこと。

## ●ごみの3R

Reduceリデュース(発生抑制),Reuseリユース(再使用),Recycleリサイクル(再生利用)。

## ●コミュニティ

コミュニティとは,人々が,地域で共同してよりよい生活条件や社会関係を実現するために取り組む活動又はその組織のこと。

## ●コミュニティビジネス

コミュニティビジネスとは,地域の資源を活用して取り組むビジネスで,利益追求に加えて地域における課題解決やニーズへの対応を図るもののこと。

## ●コンピュータウィルス

コンピュータウィルスとは,インターネット等を介してコンピュータに入り込み,意図的に悪影響を及ぼすように作られたプログラムのこと。

## ●コンベンション

国際及び国内の各種会議,集会,シンポジウム(参加者と質疑応答を行う形式の討論会),博覧会,見本市などのこと。

## サ

## ●災害拠点病院

厚生労働省が指定する「24時間体制が取れる」「ヘリコプターなどの広域搬送に対応できる」などの条件を満たす総合病院のこと。

## ●災害時要援護者

一人暮らし,高齢者や障害者など,災害などの非常時に自力で避難することが困難で,行政やボランティア,地域の住民による支援が必要な人のこと。

## ●最低居住水準

自立した生活を営む上で,家族人数などに応じて,最低限必要とされている部屋数や広さなどの水準のこと。

## ●三次救急

集中治療や緊急手術が必要な重症な救急患者に対し,高度な医療を総合的に提供する医療体制のこと。

## ●自主防災組織数

非常時に備えて,住民同士が協力して自発的につくる組織数のこと。

## ●市道改良率

市道総延長のうち,道路幅4m以上の市道の割合のこと。(算式)改良延長(km)÷実延長(km)×100

## ●児童デイサービス

障害のある子どもなど,発達上支援を必要とする子どもに対し,日常生活における基本的動作を習得し,集団生活に適應できるよう,施設で行う指導及び訓練などのサービスのこと。

## ●市民意識調査

市民意識調査とは,2005年(平成17年)に実施した福山市のめざすべき将来像やまちづくりの在り方などについて市民の意向やニーズを把握するための市民アンケートのこと。

## ●渋滞損失時間

年間に渋滞の影響を受けた人数×時間。

## ●種苗放流

水産物の増殖のために稚魚を川や海に放すこと。

## ●主要魚種漁獲量

カタクチイワシ,シラスなど主要な魚の漁獲量。

## ●循環型社会

循環型社会とは,廃棄物等の発生を抑制するとともに,再使用や再生利用及び適正な処分を行うことにより,天然資源の消費を少なくし,環境への負荷ができる限り低減される社会のこと。

## ●消費生活センター

暮らしのアドバイザーとして,様々な消費トラブルについて相談を受け,注意しなければならないことを知らせている機関のこと。

## ●障害のある人の雇用率

雇用障害者数÷企業・団体の常用労働者数。

## ●自立支援プログラム

生活保護世帯の自立を支援するため,公共職業安定所と福祉事務所が連携して,個々の対象者の状況,ニーズに応じた就労支援を行う事業のこと。

## ●シルバー人材センター

高齢者に,臨時的・短期的な就業機会を確保・提供することを目的に設立された都道府県知事の許可を受けた公益法人のこと。

## ●人権文化

あらゆる人によって人権問題が語られる状況をつくり上げること。

## ●青少年センター

これからの未来を担う青少年の健全育成・非行防止のために声かけ活動(補導活動)や相談活動,青少年を取り巻く社会環境の浄化活動などを行っている機関のこと。

## ●青少年健全育成施設

福山市自然研修センターや福山市勤労青少年ホームなど青少年の活動拠点となる施設のこと。

## ●成年後見制度

認知症や知的障害,精神障害などにより判断能力が十分でない人の預貯金の管理や日常生活での様々な契約などを支援していく制度のこと。

## ●政令指定都市

政令指定都市とは,地方自治法に定められた大都市に関する特例が与えられ,大都市としてふさわしい相応の権限や財源を保有することができる市のこと。

## ●セクシュアル・ハラスメント

相手の意に反する性的な言動により,相手方に不利益を与え,又は相手方の生活環境を害すること。例えば,身体への不必要な接触,性的関係の強要,性的うわさの流布,わいせつな写真の掲示など様々なものが含まれる。

## タ

## ●多文化共生

国籍や民族など異なる人々が,互いの文化的違いを認め合い,対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

## ●団塊の世代

団塊の世代とは,おおむね1947年(昭和22年)から1949年(昭和24年)ごろまでに生まれた人々のこと。

## ●地域ブランド商品数

特許庁に登録が認められた地域の名称と商品の名称からなる商標の数のこと。

## ●地域包括支援センター

高齢者の総合相談窓口として,介護予防ケアプラン作成,高齢者の生活支援のための地域ネットワークづくりなどを行う,地域の介護予防拠点となる機関のこと。

## ●地産地消

地域で生産された食材をその地で消費すること。身近な地域と食の結びつきを深めていくことによって,地域の農業や伝統的な食文化を守り,いきいきとした地域社会づくりを進めようという取組のこと。

## ●地方分権一括法

地方分権を進めるために,475本の法律改正を一括して行った法律のこと。

## ●中核市

中核市とは,比較的大きな都市(人口30万人以上)について,その事務権限を強化し,できる限り住民の身近で行政を行うことができる市のこと。

## ●中心市街地の居住人口

商業,業務,居住などの機能が集積し,長い歴史の中で文化や伝統など培ってきた「街の顔」といべき地域。おおむね,福山駅を中心に約187haに居住する人口のこと。

## ●超高齢社会

超高齢社会とは,一般的に,総人口における65歳以上の割合が,21%以上の社会のこと。(7%以上が「高齢化社会」,14%以上が「高齢社会」)

## ●築いそ

タコ・ナマコなどの増殖のために,石材を投入して設置した人工礁のこと。

## ●TEU

Twenty-Foot Equivalent Unitの略。コンテナ取扱個数の単位。コンテナの長さが約6mのコンテナが1TEUに相当する。

## ●道州制

道州制とは,社会や経済の変化に伴い,現行の府県制の不適當を是正しようとして構想されたもので,数府県の地域を単位とする広域行政体として,道または州を置く制度のこと。

## ●特定高齢者

現在は生活が自立していても,今後介護を受ける状態になるおそれの高い65才以上の高齢者のこと。

## ●都市計画道路整備率

都市計画道路供用済延長÷都市計画道路計画決定延長。

## ●都市内分権

都市内分権とは,地域の課題に対して,地域の団体や市民が連携して主体的に事業を計画し,実施できるようにする仕組みづくりのこと。

## ●DV(ドメスティック・バイオレンス)

夫や恋人など親密な関係にある、又はあった男性から女性に対して振るわれる暴力のこと。

## ナ

## ●内港地区

リーデンローズ東側埋立地で、県と市が整備を進めている福山港の一部。現在の港町二丁目付近のこと。

## ●ニート

ニートとは、就業(家事手伝いを含む)、就学をせず、また、就労に向けた具体的な活動を行っていない人のこと。

## ●日中活動系サービス

障害のある人に、昼間、施設などで行う、介護や生活訓練、リハビリ、就労支援などのサービスのこと。

## ●認知件数

認知件数とは、警察が事件として取り扱った件数のこと。

## ●認知症

単なるもの忘れではなく、脳や身体の疾患を原因として、記憶・判断力などの障害が起こり、普通の社会生活が送れなくなった状態のこと。

## ●認定農業者

農業経営における年間労働時間2,000時間、年間農業所得500万円を目標とする農業者のこと。

## ●ノーマライゼーション

ノーマライゼーションとは、障害のある人や高齢者などすべての人々が社会の中で普通の生活や活動ができるようにすること。

## ハ

## ●ハイテク犯罪

ハイテク犯罪とは、コンピュータ技術や電気通信技術を悪用して行う犯罪のこと。

## ●ハイリスク妊婦

妊娠・出産に危険が生じる可能性を高く持っている妊婦のこと。

## ●発達障害

発達段階において、認知、言語、社会性、運動などの機能の発達が阻害された状態のこと。

## ●BSE

Bovine Spongiform Encephalopathy(牛海綿状脳症)の略。BSEプリオンと呼ばれる病原体が、主に脳に蓄積することによって、脳の組織がスポンジ状になる牛の病気のこと。

## ●燧(ひうち)灘海域

瀬戸内海中央部、福山から香川県、愛媛県の間を占める海域のこと。

## ●ビジネス支援サービス

ビジネス支援サービスとは、人材派遣や情報サービス、デザインなどのサービスのことで、製造業などのビジネスを支援するサービスのこと。

## ●備蓄物資充足率

避難所で1万人が1日生活するとした場合の食料品、生活必需品の7品目(乾パン、アルファ米、毛布、生理用品、紙おしめ、簡易トイレ、トイレトペーパー)の平均充足割合のこと。

## ●付加価値額

総生産額から原材料費・燃料費や減価償却費を差し引いたもので、人件費・利子・利潤の合計のこと。

## ●福祉的就労

一般企業などで就労することが困難な障害のある人が、自立や生きがいづくりのために施設などで働くこと。

## ●ふくやまブランド農産物

ふくやまブランド認定生産者団体が出荷する農産物のこと。

## ●フリーター

フリーターとは、正社員以外のアルバイト、パートタイマー、派遣など非正規雇用形態により生計を立てている人のこと。

## ●ベンチャー・サポート・システム

ベンチャー企業に対して技術開発から商品化、販路開拓、資金供給、人材育成の各段階において、効果的な支援を行うための産学官民連携による支援体制のこと。

## ●ベンチャー企業

高度な知識や新技術を使い革新的・創造的な経営を展開する知識集約型の小企業のこと。

## ●放送大学サテライトスペース

放送大学が行う放送授業番組の再視聴設備や図書を備えるとともに、福山市立女子短大や県内の大学教員による面接授業(スクーリング)を実施している場所のこと。

## ●訪問介護員

ホームヘルパーとも呼ばれ、家庭を訪問して身体介護や生活援助などの日常生活の援助業務を行う人のこと。

## マ

## ●まちづくり出前講座

行政職員やボランティア・NPO等が直接学習会の場に出向き、行政情報や専門的な情報を提供し、これからのまちづくりをともに考えていく講座のこと。

## ●ミュージアム

博物館、美術館のこと。

## ●メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満のことで、肥満、高血圧、高血糖、高脂血症などが重複し動脈硬化が進む状態のこと。

## ●藻場

アマモ・ガラモなど海藻類の繁茂する魚の採卵場・保育場となる場所のこと。

## ヤ

## ●Uターン就職決定者数

福山地方Uターン就職協議会のUターン登録者のうち、福山地域への就職が決まった数のこと。

## ●ユニバーサルデザイン

すべての人のためのデザインという意味。私たちが生活していく上で、性別や年齢・国籍・障害の有無など、人々の様々な個性や違いを超えて、すべての人が暮らしやすい、まちづくり・ものづくり・人づくり・環境づくりなどを行っていくとする考え方のこと。

## ●要介護

日常生活上、自力では困難なことについて介護が必要な状態のこと。

## ●要支援

日常生活は何とか自力でできるが、一部支援が必要な状態のこと。

## ラ

## ●ライフステージ

ライフステージとは、年齢に伴って変化する人生の各場面のこと。

## ●リハビリテーション

リハビリテーションとは、障害を持つ人々に対して、障害の回復治療を施し、残された能力を最大限に高め、可能な限り自立した生活ができるように援助すること。

## ●療育

「治療」と「教育」の意味を併せ持つことばで、障害のある子どもなど、発達上支援を必要とする子どもの特徴を把握し、その伸びる力を育てること。

## ワ

## ●ワンストップ支援体制

創業や新製品開発、販路開拓、資金調達などの様々な経営課題に対して、同じ窓口で指導や支援ができる体制のこと。

表紙の写真説明



- 1 プリンセスふくやま
- 2 福山城
- 3 ローズふくやま
- 4 芦田川
- 5 チャーミーふくやま
- 6 ばら公園
- 7 ラブリーふくやま
- 8 弁天島(鞆の浦)
- 9 ビューティフルふくやま
- 10 スマイルふくやま

※ 福山市で生まれた「ばらの花」です。

## 第四次福山市総合計画 前期基本計画

発行日：2007年(平成19年)6月

発行：福山市

〒720-8501 福山市東桜町3番5号

電話 084-928-1012

福山市ホームページ

URL=<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>

編集：企画総務局企画部企画課

デザイン印刷：(株)ぎょうせい 中国支社



※この計画書は再生紙を使用しています。



この印刷物は、自然環境に優しい大豆由来のインクを使用しております。